

## 2 学力向上アクションプランの具体例

### 横浜市立矢向小学校 令和5年度 学力向上アクションプラン

#### 1 中期学校経営方針

##### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
わたしが、みんなが、かがやく 矢向の森 ○学ぶ楽しさを知り、自分の考えを深める子を育てます。(知) ○自分が好き、友達も大好きな、あたたかい子を育てます。(徳) ○心と体の健康を守り、自他の生命を大切にすることを育てます。(体) ○まちの人やものを大切にし、共に生きる子を育てます。(公) ○様々な人と自分からすすんでコミュニケーションがとれる子を育てます。(開)	<主体的に行動する力> ・考えを構築する力 ・多様な方法で考えを伝える力 ・協働的に学ぶ力 ・自分や他者のよさを認める力 ・やりきる力

##### (2) 中期取組目標

中期取組目標
○全教職員が自立とチームワークを基盤としながら、主体的に学校経営に参画し、「チーム矢向」として、チーム力を生かして「活力」「魅力」ある学校づくりを推進します。 ○基本的な学習内容の定着並びに学力の向上に向け、授業改善を通して、授業力の向上を目指します。 ○人権尊重を基盤にした教育活動を通して、「自尊感情」や「思いやりの気持ち」をもてる児童の育成を目指します。 ○家庭・地域・関係機関や公共施設と交流・連携を深め、開かれた学校づくりを推進します。

##### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生活科 総合的な学習の時間 担当 学力向上部 <small>カリ・マネ推進委員会</small>	研究主題を「主体的に学習する子の育成をめざして」と設定し、生活科・総合的な学習の時間の研究を積み重ねていく。研究副題を「三本（本気、本音、本物）の矢で目指す探究的な学びの実現」と設定し、子どもたちの学びに向かう意欲を探究的にする授業の在り方を全職員で追究していく。

## 2 横浜市学力・学習状況調査からの実態把握

### ○学力の概要

令和4年度横浜市学力・学習状況調査の正答率  
 ※令和4年4月26日（火）27日（水）に実施

	国語			社会			算数			理科		
	本校平均	市平均	差									
2年	71.7%	67.3%	+4.4%				74.1%	68.3%	+5.8%			
3年	69.1%	65.6%	+3.5%				74.3%	70.4%	+3.9%			
4年	58.6%	60.4%	-1.8%	66.4%	68.2%	-1.8%	70.1%	71.9%	-1.8%	78.6%	79.6%	-1.0%
5年	61.2%	61.0%	+0.2%	68.5%	66.5%	+2.0%	72.3%	69.8%	+2.5%	75.8%	71.9%	+3.9%
6年	57.8%	56.4%	+1.4%	78.4%	75.1%	+3.3%	71.3%	69.2%	+2.1%	67.4%	62.8%	+4.6%

学力に関して多くの学年で横浜市の平均正答率を上回る結果となった。しかし、学習意識については、市平均に届かない学年が多くある。本調査結果を踏まえ、子どもたちが学習改善に取り組めるよう、教職員がより一層の授業改善に努め、本校の教育課程全体で育成を目指す資質・能力である「主体的に行動する力」を日々の授業で高め、学習意識の向上につなげられるようにしていく。また、カリキュラム・マネジメント（PDCA サイクル、教科横断的な学び、地域リソースの活用）を確実に実行できるようにしていく。

### 3 令和5年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立心</li> <li>・協同性</li> <li>・思考力の芽生え</li> </ul> ※「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の中から特に関わりの深いものを抜粋	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スタートカリキュラムを中心に、安心安全な学校生活を保障し意欲や自信をもって活動する過程において、必要な習慣や技能を身に付ける。</li> <li>○各活動において、思考錯誤する場面を意図的に設ける。根気よく課題解決に取り組む経験を重ねて、主体的に行動する力の基礎を養う。</li> </ul>	カリキュラム・マネジメントの3つの視点で、年度途中での見直しを図り作成する。
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や他者のよさを認める力</li> <li>・やりきる力</li> </ul> ※「主体的に行動する力」に向かうぐるぐの中より抜粋	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの思いや願いを生かした問題解決的な学習活動を展開することで、対象を自分ごととして学習に積極的に取り組めるようにする。</li> <li>○毎時間、見通しを持って粘り強く学習に取り組む中で、自らの気付きや考えを伝え合ったり、振り返ったりすることを通して、他者と協力しながら自分の考えを深める。</li> </ul>	
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを構築する力</li> <li>・多様な方法で考えを伝える力</li> <li>・協働的に学ぶ力</li> </ul> ※「主体的に行動する力」に向かうぐるぐの中より抜粋	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会科・理科・総合的な学習の時間を中心に、問題解決的な学習への意欲や学び方が定着できるようにする。</li> <li>○自分の思いや考えを表現する場を多く設定し、学びの高まりや自己有用感が味わえるようにする。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力的基礎・基本の定着</li> <li>・成功体験ができる活動、自発的自主的な活動を取り入れる。</li> <li>・自己選択や自己決定の場を多く取り入れる。</li> <li>・気持ちを伝えあえる、お互いを認め合ったり励まし合ったりできる環境づくりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科で学習したことよさに気付き、実生活に生かしていこうとする力を育てる。</li> <li>○学習に対して主体的に取り組むことができるように、振り返りから次時への見通しをもてるようにし、ひとりひとりの思いや願いに合わせて粘り強く取り組むことができるようにする。</li> </ul>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力的基礎・基本の定着</li> <li>・成功体験ができる活動、自発的自主的な活動を取り入れる。</li> <li>・自己選択や自己決定の場を多く取り入れる。</li> <li>・気持ちを伝えあえる、お互いを認め合ったり励まし合ったりできる環境づくりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学ぶことに興味や関心を持ち、学習へ見通しをもって粘り強く取り組めるようにする。</li> <li>○自己の学習を振り返る時間を保障し、学んだことを価値付けたり生活に生かそうとしたりして、次の学習や活動につなげられるようにする。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力的基礎・基本の定着</li> <li>・成功体験ができる活動、自発的自主的な活動を取り入れる。</li> <li>・自己選択や自己決定の場を多く取り入れる。</li> <li>・気持ちを伝えあえる、お互いを認め合ったり励まし合ったりできる環境づくりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に学ぶ力をさらに高めていけるように、学習の見通しを子どもと共有しながら、価値付けや称賛を繰り返していく。さらに、振り返りの明確な視点を示し、十分な時間を確保することで、自己の成長に気づき、多様な方法で表現できる力を高める。</li> <li>○協働的な学びの価値に気付くことができるように、空間・時間・視覚的環境を整え、必要に応じた学び方の選択・判断ができる力を高める。</li> </ul>	
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力的基礎・基本の定着</li> <li>・成功体験ができる活動、自発的自主的な活動を取り入れる。</li> <li>・自己選択や自己決定の場を多く取り入れる。</li> <li>・気持ちを伝えあえる、お互いを認め合ったり励まし合ったりできる環境づくりをする。</li> </ul> 主体的に行動する力 ※児童の実態を適切に見取り、1～6年の取り組みを取り入れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力的基礎・基本の定着</li> <li>・成功体験ができる活動、自発的自主的な活動を取り入れる。</li> <li>・自己選択や自己決定の場を多く取り入れる。</li> <li>・気持ちを伝えあえる、お互いを認め合ったり励まし合ったりできる環境づくりをする。</li> </ul>	

